

長野県木曾青峰高等学校 令和7年度第1回学校評議員会 記録

日時 令和7年8月29日（金）午後3時30分から午後5時00分

場所 木曾青峰高等学校会議室

出席者 学校評議員 同窓会長・同窓会副会長・信州木曾看護専門学校副学校長・開田中学校長
丘の上区長

学校職員 校長・全日制教頭・定時制教頭・全日制教務主任・定時制教務主任・
進路指導主任・生徒支援主任・1学年主任・2学年主任・3学年主任・
理数科主任・森林環境科主任・インテリア科主任

- 1 開会
- 2 学校長挨拶
- 3 学校からの報告
- 4 学校評議員からの質問・意見・要望等

～ご質問・ご要望等～

■全国募集に向けて、学校としての売りをしっかりと発信していく必要がある。長い歴史によってはぐくまれてきた木曾青峰高校の強みを発信すべきである。木曾谷・伊那谷フォレストバレーも発信ツールとして活用することが可能である。これらの実現のために、メディアの力が強いので、活用をしていただきたい。

→木曾谷・伊那谷フォレストバレーについては伐木チャンピオンシップのチャンピオンに贈呈するヒノキのカップに取り付けるプレートの制作を本校インテリア科が担当し、Webページにも掲載している。

■校内のWi-Fi環境はどのようになっているのか教えていただきたい。生徒が自由に使用できるWi-Fiがあるのかどうか。また、生徒が利用している寮のWi-Fi環境はどのようになっているのか。

→生徒の個人用タブレットをWi-Fiにつなげる状況になっている。寮についても校舎で使用しているWi-Fiを使っているが、課題も多くあり、今後も検討を続けていく。

■全国募集をした際の寮について、女子生徒が来た場合、寮はどうなるのか。また、今の寮は学校よりは比較的新しいが、施設的な問題点はないのか。もしあるとすれば、その対策はどうするのか。

→女子寮については様々な方面にご協力をいただき、準備を進めているが、今後、状況によっては不足するといったことも考えられる。現在の寮についても風呂や居住スペースを改修してもらえるように要望をしている。

～その他ご意見～

○SNSやAIの活用について、これらは諸刃の剣であり、メディアリテラシーが非常に大事になってくる。学校として、メディアリテラシーを学ぶ環境を整備していく必要があり、学年や学科において生徒との対話をしながら考えて頂きたい。

○募集定員を充足するために中学生に選んでもらえるよう、全国募集をこれから行う専門科に限らず、普通科理数科についてもアピールをどんどんしていただきたい。スクールマガジンを地域の人はもちろん、特に中学生に見てもらいたい。また、地元の中学校には高校の良さを子供に伝えてもらいたい。

○定時制について、中学校時代に不登校の子供には貴重な場所である。大変なところも多いかと思われるが、色々な課題を抱えた子供への新たな道となってほしい。

○新教育課程の探究的な学びについて、卒業後のグループワークやプレゼンテーションにつながっており、新しい学びの力が身についていると感じている。

○中学校でも県外の大学生と交流をしており、関心がある生徒がいればお伝えいただければありがたい。

- 5 その他
- 6 閉会